

武豊町リユースモデル事業 報告書

1. リユースモデル事業の概要

1.1 プランの概要

平成 23 年より住民から集めたリユース品を会場に展示、参加者が持ち帰るイベント「武豊リユースパーク」を実施しているが、その仕組みを踏襲して常設のリユース施設「武豊リユースステーション」の開設を町内事業者と連携しながら検討する。

「武豊リユースステーション」は資源回収拠点である「たけとよエコステーション」に併設する形で平成 27 年 1 月 6 日（火）に開設した。

(1) 対象品目

町民の方から提供いただくリユース品は、「キッチン用品」₁、「日用雑貨品」₂、「育児関係」₃、「衣料品関係」₄、「本・CD・DVD・ゲーム」とし、町が指定する処理困難物、家電リサイクル法対象品目（冷蔵庫・冷凍庫、テレビ、洗濯機・衣類乾燥機、エアコン）等は受付対象外とした。

一定期間、引き取り手が現れなかったリユース品については、資源物として処理可能なものはエコステーションで引き取る。資源物として処理できないものについては、武豊町にて適正処理を行う。

「武豊リユースステーション」で対象としたリユース品

品目	受付できない品目
キッチン用品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 汚れ、破損のひどい品物 ・ 部品が欠品しており、機能に支障があるもの ・ 町の指定で処分する“処理困難物”として扱われるもの ・ 家電リサイクル法の対象製品 ・ 危険物、動植物、飲食物、化粧品、医薬品、その他法律上販売が禁止されているもの ・ 無線機など、使用の際に専門の知識を要するもの ・ 個人情報漏えいする恐れのあるパソコンの周辺機器
日用雑貨品	
育児関係	
衣料品関係	
本・CD・DVD・ゲーム	

(2) 取組の概要

武豊リユースステーション開設に向けて、エコステーションの運営事業者である株式会社エイゼンと協議して、リユースステーションの運営方法の検討を行った。11 月に広報用ちらし・ポスターを作成し、町内の施設へ配布するとともに、イベントなどで取組の紹介を行った。

リユース品の提供は、エコステーションが営業している月～土曜日の 9:00～15:00 に受け付ける。リユース品を持ち込んだ町民は施設内のリユースボックスにリユース品を入れ、係員からリユース品交換券を受け取る。

リユース品の交換は、火・水・木の 13:00～15:00 に受け付ける。施設内に受け取りを希望するリユース品があれば、交換用紙に必要事項を記入の上、リユース品交換券と引き換えにリユース品を持ち帰ることができる。

事業者は、町民から提供されたリユース品の陳列・展示や整理、提供品目別の重量やリユース

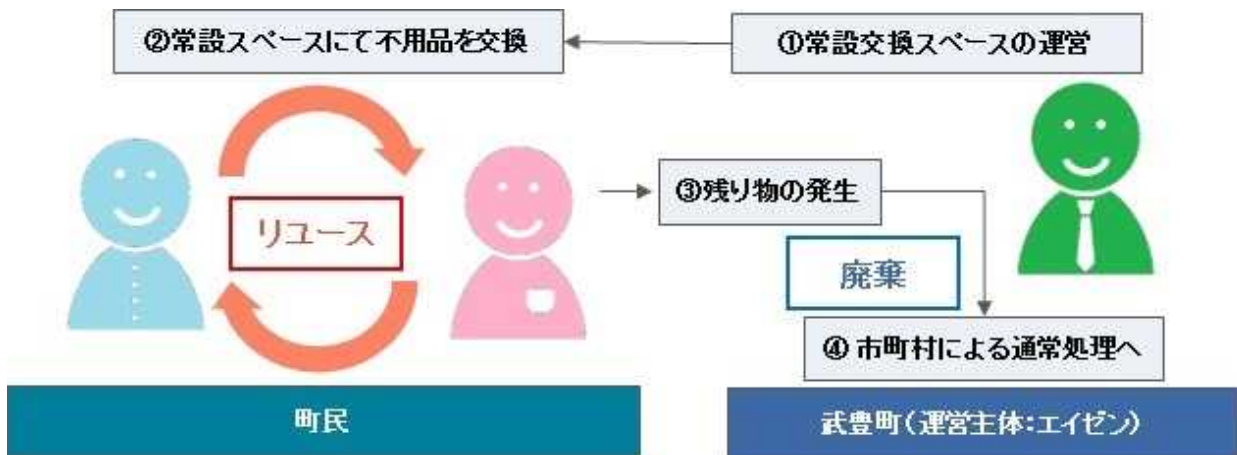
スされた品目別の重量、リユース品提供者数、交換者数などの記録を行う。

(3) 役割分担

武豊町は「リユースステーション」の責任者として、開設に向けた企画・準備、効果測定等を行う。たけとよエコステーションの運営事業者でもある株式会社エイゼンは、リユース品の受付・交換業務、リユース品の展示・整理等を行う。

・常設交換スペースの運営について自治体と事業者の役割分担まとめ

武豊町	株式会社エイゼン
開設に向けた企画・準備	運営準備
チラシ作成、広報への掲載による告知	リユース品の受付・交換業務
町民からのお問い合わせへの対応	リユース品の展示・整理
運営に関する状況確認	集客数や重量等の測定
効果測定の検証	アンケートの実施
今後の運営に関する検討	



環境省 リユースモデル事業

再資源から再利用、暮らしがもっとエコになる。

武豊リユースステーション

Taketooyo reuse station



場 所
たけとよエコステーション施設内

交換日時
毎週火・水・木曜日 13:00~15:00

武豊リユースステーションでごみ量の削減
町民のみなさんから「まだ使えるもの」を集めて、別の人に品物を再利用してもらうよう促す施設です。品物の再利用をするリユースは、リサイクルよりも環境負荷が低いため、今後の普及が望まれています。ご利用の流れは、裏面をご確認ください

「リユース」の次は「リサイクル」 資源物の「分別」にもご協力ください

町内に資源回収施設「エコステーション」は2ヶ所
みなさんのご家庭から排出された資源物は、新たな製品にリサイクルするための材料として売られています。資源物の売り買いによって武豊町の廃入となった代金は、ごみ処理行政の運営費に使用されています。

営業日時
月曜日～土曜日
9:00～15:00
エコステーションの場所については、裏面の地図をご覧ください



「武豊リユースステーション」及び「エコステーション」についてのお問い合わせは、
株式会社イゼン ☎72-3764 または、武豊町役場環境課 ☎72-1111まで

武豊リユースステーションご利用の流れ

1 リユース品を持ち込む

2 施設内のリユースボックスに入れる

3 係員に声をかけてリユース品交換券を受け取り完了!

リユース品の提供
(月～土曜日 9:00～15:00)

1 リユース品交換券を持って来場

2 気に入ったリユース品を選び、交換用紙を記入して係員に提出し、交換券に受付印を押してもらおう

3 リユース品を持ち帰り完了!

リユース品の交換
(火～木曜日 13:00～15:00)

取り扱うリユース品について

受付できる品目

- ◆キッチン用品
- ◆日用雑貨品
- ◆育児関係
- ◆衣料品関係
- ◆本・CD・DVD・ゲーム

受付できない品目

- ・汚れ、破損のひどい品物
- ・部品が欠品しており、機能に支障があるもの
- ・町の指定で処分する際に“処理困難物”として扱われるもの
- ・家電リサイクル法の対象商品
(テレビ、エアコン、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機、衣類乾燥機)
- ・危険物、動植物、飲食物、化粧品、医薬品、その他法律上販売が禁止されているもの
- ・無線機など、使用の際に専門の知識を要するもの
- ・個人情報が入っている恐れのあるパソコンの周辺機器

ご利用にあたっての注意事項

- ・施設内には、十分な駐車スペースがありません。他の利用者の方へのご配慮をお願いします。
- ・併設のたけとよステーションは、月～土曜日の営業ですが、リユース品の「交換」は、毎週火・水・木曜日のみとさせていただきます。リユース品の提供は、エコステーションの営業時であればいつでも可能です。
- ・本事業は試行事業のため、内容が変更となる場合があります。予めご了承下さい。

武豊町内のリユースショップ案内

ゲオ武豊口田店さんでもリユース品の取り扱いをしています。

●取扱い品目●
本・CD・DVD・ゲームソフト
ゲーム機本体・トレカ・携帯電話・スマホ
武豊町字口田11-1 ☎72-0614



たけとよエコステーション
エコステーションの施設内でリユース品の「受付」「交換」をすることができます。

おおしエコステーション
こちらのエコステーションでもリユース品の「受付」をしています。

1.2 広報・PRの方法

ちらし・ポスターの町内施設への配布、広報及びホームページへの記事の掲載、ごみに関する問い合わせの際の紹介などを実施した。

2. モデル事業の利用状況・問題点・効果について

2.1 モデル事業の利用状況について

武豊リユースステーションの1月～3月の提供重量、リユースされた重量、廃棄された重量は下記の通りである。日用雑貨品やキッチン用品のリユースされた重量が多い。

武豊リユースステーションの利用状況実績（1～3月分，単位：kg）

	キッチン用品	日用雑貨品	育児関係	衣料品関係	本・CD等	合計
リユース品提供重量	358.3kg	622.5kg	140.6kg	272.5kg	409.8kg	1803.7kg
リユースされた重量	254.8kg	352.4kg	31.3kg	72.1kg	35.6kg	746.2kg
リユース率	71.1%	56.6%	22.3%	26.5%	8.7%	41.4%
廃棄重量	67.5kg	154.6kg	72.1kg	91.0kg	216.9kg	602.1kg

平成26年度開催の「武豊リユースパーク」残重量分含む

（提供重量＝リユースされた重量＋廃棄重量）とならないのは、現在武豊リユースステーション内に展示されている重量があるため

武豊リユースステーションの利用人数（1～3月分）

	提供者数	交換者数	ユニークユーザー	累計リピート人数
1月	126人	53人	44人	9人
2月	127人	94人	48人	55人
3月	121人	102人	31人	126人
合計	374人	249人	123人	126人

* 初めての利用者には交換用紙の裏面にてアンケートを実施しているため、その回答数からユニークユーザー数を算出

2.2 モデル事業の問題点（事業者・利用者からのヒアリングを元に作成）

A. 運営面

（交換券について）

数量に関わらず1度のリユース品の提供につき、1枚の交換券を進呈という仕組みについて、提供点数1点につき交換券1枚にしてほしいという声が多くあった。また、同様に交換券1枚につき持ち帰ることができる品物の点数が1点という制度についても少ないという声があった。

現場において品物を見ながら柔軟に判断をしたが、今後も継続して行う事業であるため、交換券制度の再検討が必要である。

(展示品の検品作業について)

電子機器については、電源を入れても作動しない場合や付属部品が不足していることがあった。また、個人情報の漏えいやPL法等の問題が懸念されるため、対応についての検討が必要。

本については、成人向け雑誌が混ざっていたり、使用済みの塗り絵や日記が提供されることがあった。

CD、DVD、ゲーム類については、ケースと中身が異なっている品物が多く見られた。また、私的利用のためにダビングされたディスクも提供品の中に含まれていたため、検品作業に時間がかかった。

検品作業に時間をかけることによる人件費の高騰や持ち帰ってもリユースできない品物・間違った品物であることを未然に防ぐためにも取扱品目の見直しが必要である。

B. 会場及び営業時間

(会場レイアウトについて)

提供される点数が増えてきたため、スペースが不足している。また、リユース品を見定めているうちに種類別に整理されている品物が混在してしまっている様子が多く見られた。そのため、リユース品の閲覧がしにくくなるのに加え、月末の棚卸時に重量の誤差が生じてしまっている。

陳列用品の充実から品物のレイアウトの向上を狙い、リユースを促しながら、業務の簡素化を図りたい。また、取扱品目の見直しにより会場の整理をすることも必要なのではないか。

2.3 効果測定について

リユースに関する実績整理

1月6日火曜日から3月26日木曜日に実施したモデル事業において、リユース品提供者...374人、リユース品交換者...249人、リユース品の提供重量...1,803.7kg、リユースされた重量...746.2kgという実績を得ることが出来た。

前頁の表から見ても利用者数は増加傾向にあり、町民にリユースが浸透してきているのではないかと判断する。

また、746.2kg リユースされたことでそれに伴うごみ・資源の運搬費や中間処理費を削減することができた。(約1万8千円の削減)

エコステーションの来場者が増加することによる駐車場の混雑等の問題は現状において発生しておらず、むしろ武豊リユースステーションの開業により、普段は

来場者数の少なかった火・水・木曜日の午後に分散されている様子であった。さらに武豊リユースステーションの認知度が高まり来場者が増えることで、エコステーションでの資源物回収量の増加に伴う資源物売買に伴う町の歳入の増加にもつながるのではないかと考える。

採算性について

本モデル事業に係った経費 税込

広報費	223,560 円	A 4 チラシ両面カラー印刷...20,000 枚 A 2 ポスター片面カラー印刷...200 枚
看板作製費	140,940 円	A 型サイン D600×H900 + 300 片面サイン 5 台 アルミ枠 ポリウエイト 10 個
会場清掃費	98,280 円	
消耗品費	298,158 円	陳列用コンテナ、交換用紙代など
合計	760,938 円	

次年度以降の本事業実施に際する採算性について

(必要経費)

人件費	497,250 円	リユース品交換受付業務...153 日 週 3 日 (火・水・木) 13~15 時
諸経費	58,306 円	交換用紙代、陳列用具購入費など
消費税	44,444 円	
合計	600,000 円	

(事業展開に伴う町への利益) 想定 *モデル事業期間の実績 3 か月 × 4 で算出

運搬費の削減	14,828 円	(746.2kg × 4) × 4.6 円 × 1.08
中間処理費の削減	58,024 円	(746.2kg × 4) × 18 円 × 1.08
資源回収量増加に伴う歳入増加	約 86,800 円	996 人 (249 人 × 4) 増加により 約 14,000kg 資源物回収量増加
合計	約 160,000 円	

*リユースされた品目を全て再資源不燃物と仮定し、処理費を計算した場合

*資源回収量増加に伴う歳入増加は平成 25 年度の来場者数、資源回収量、資源売買量の割合から算出

【費用対効果のまとめ】

(必要経費) - (事業展開に伴う町への利益)

600,000 円 - 160,000 円 = 440,000 円分事業費として必要となる

来場者アンケートの結果整理（１～３月実施）

* 初めて武豊リユースステーションに来場した人を対象にアンケートを実施した。

* 有効回答数人数 111人

Q1 .環境用語である4 Rのうち、意味を知っているものはありますか？(複数回答可)	
A . リサイクル	106人
B . リユース	94人
C . リフューズ	11人
D . リデュース	23人
E . どれも知らない	1人
Q2 . 普段からリユース活動をしていますか？	
A . している	90人
以下、どのような方法で行っていますか？(複数回答可)	
リサイクルショップに持ち込む	40人
武豊リユースパークへの出品	48人
ネットオークション	14人
家族や友人にゆずる	45人
フリーマーケットやバザーに出店	18人
その他	0人
B . していない	16人
Q3 . 武豊リユースステーションを通じて、「リユース」の意識が高くなりましたか？	
A . 非常に高くなった	72人
B . 少し高くなった	32人
C . あまり高くならなかった	0人
D . 変わらない	6人
Q4 . 今後も武豊リユースステーションを利用したいと思いますか？	
A . 定期的に利用したい	95人
B . 機会があれば利用したい	16人
C . 利用したいとは思わない	0人

【自由記入欄への意見（代表的なものを抽出）】

- ・ とても良い取り組みだと思います。是非続けてほしいです。
- ・ どんどん品物が増えて、リユースコーナーが立派になればいいですね。武豊の町民もみんなが喜ばれる場所になることでしょう。今日初めて利用しましたが、たくさん品物があってびっくりしました。今の時代、モノ余りで共有してもらえるのが一番いいですね。リユースの実現は、私も大賛成です。これからも利用させていただきます。

- ・とても楽しく見せて頂きました。
- ・働いている方がとても親切で嬉しかったです！
- ・高齢者のたまり場みたいになってちょっとした修理などもしてくれると生きがいになる人もいますかと思えます。
- ・使わないけど捨てられないものがたくさんあるので、持って行ける場所が近くにできるとすごく助かります
- ・リユース品のなかには、欲しいと思っていたものがあったりするので、見て回るのも楽しみです。知り合いにも教えてあげたい
- ・これってリユース品？処分したほうが...と感じるものもありました。
- ・交換券はリユース品提供 1 品につき 1 枚がうれしいな
- ・夕方 5 時までにして下さい。

「武豊リユースステーション」次年度以降の計画の検討

今後の課題としては、2)モデル事業の問題点で挙げた通り、交換券制度及び取扱品目について見直さなくてはならないと考える。具体的には、リユース品提供者に渡している交換券の枚数の見直しもしくは交換券制度の廃止、リユース品の使用が困難なものや検品作業に時間を要する品目は受付品目から除外する等の検討が必要である。本事業を継続的な事業として展開させるためには、これらの問題点の改善・制度変更により諸経費及び人件費の削減へのアプローチを考えなくてはならない。

武豊リユースステーションをよりよい施設として町民にとって利用しやすく機能させるために本モデル事業期間を経て得ることが出来たこれらの反省点について27年度、28年度に改善方法の検討、実施をしていく。広域ごみ処理施設の建設に動いている本町において、本事業のような先進的な取組を継続させることで、町民の生活にリユース文化を根付かせ、環境への意識の高い町民を増やしていきたい。それにより、更なるごみの減量化の実現を果たし、「環境のまち武豊」を目指す。

「武豊リユースステーション」の様子



<ガソリンスタンドを改修したエコステーション>



<リユースステーションの入り口>



<リユース品の受付場所>



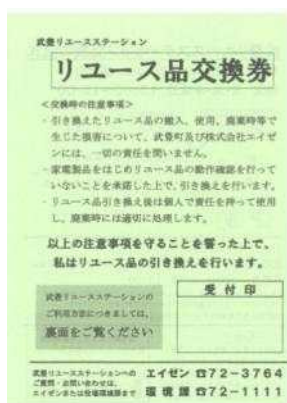
<リユース品の陳列の様子>



<衣類>



<おもちゃ>



<リユース交換券>



<リユース交換用紙(申込用紙)>